

都市再生整備計画アンケート調査結果

建設水道部都市整備課

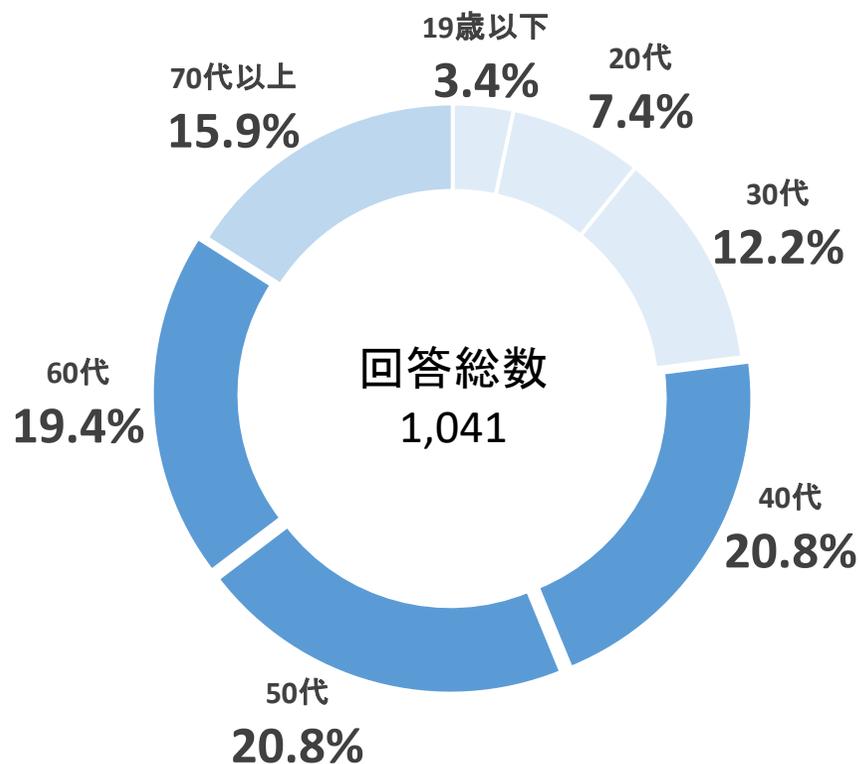
1 調査概要

調査目的	都市再生整備計画に基づいた事業(こどもの遊び場整備、認定こども園整備、道路整備など)完了に伴う、評価の基礎資料および今後のまちづくりに活かすため
調査対象	全市民を対象とし、市広報、市公式LINEなどで周知
回答方法	Web
調査時期	令和7年4月30日から 令和7年5月30日まで実施
回答者数	1,041件(重複回答除いた件数)

2 調査結果(回答数)

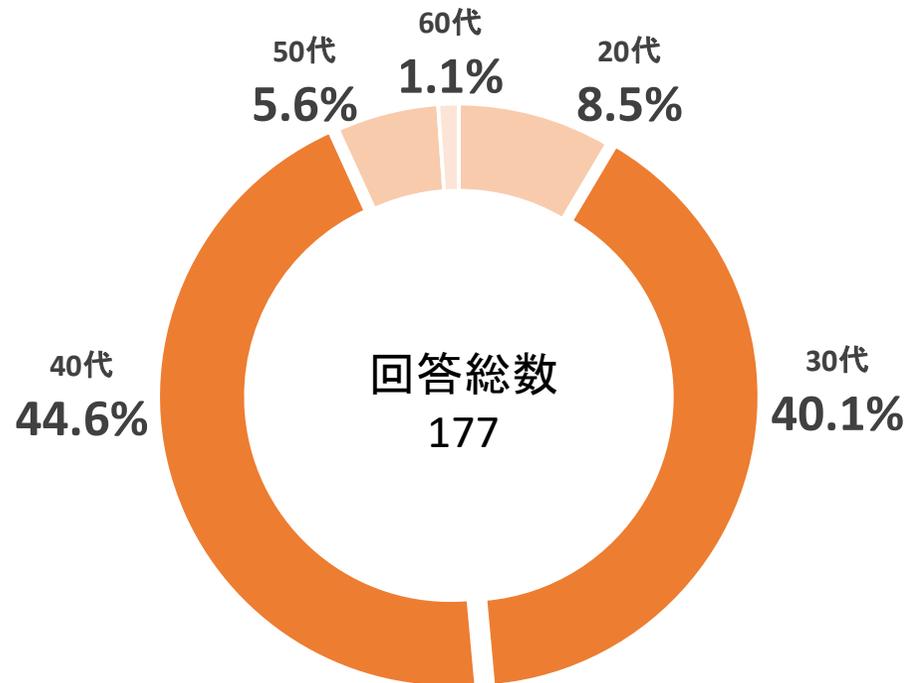
1,041人回答

全体



	19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
回答数	35	77	127	217	217	202	166

うち養育者(子どもが小学生以下)



	20代	30代	40代	50代	60代
回答数	15	71	79	10	2

2 調査結果(満足度)

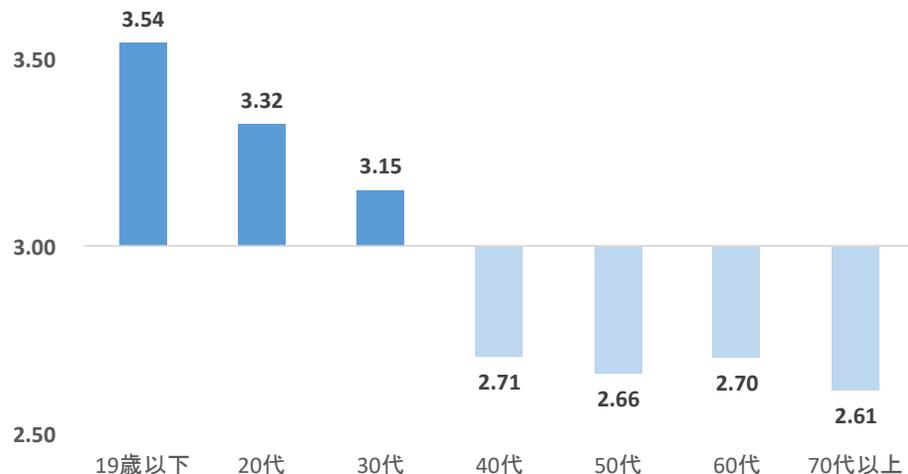
満足:5点 やや満足:4点 普通:3点
やや不満:2点 不満:1点 での平均

名寄市こどもの遊び場「にこにこらんど」の整備や歩道が整備されていない子育て施設へのアクセス道路整備後の市民満足度

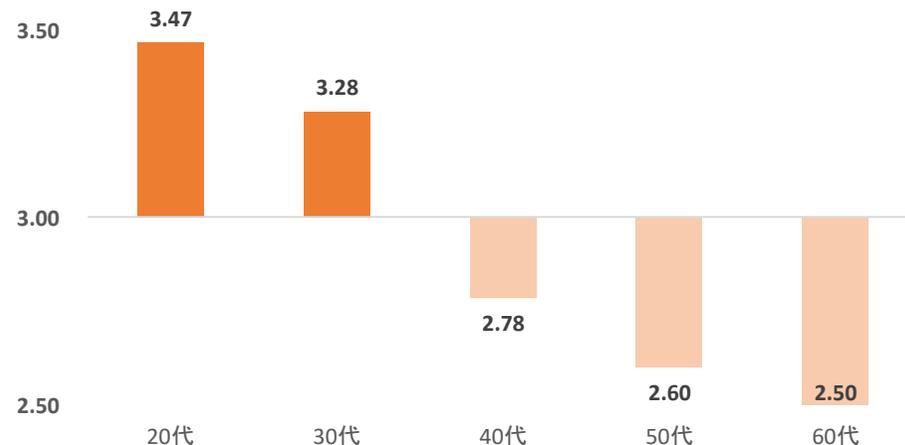
項目	満足度	うち養育者
中心市街地(名寄地区)の活性化とにぎわい	<u>2.81点</u>	<u>3.03点</u>

- ・全体で見ると19歳以下から30代までの満足度は各年代で中間点の3点を超えており、高い満足度となっているが、40代から年齢が上がるにつれて、満足度も低下している傾向にある。
- ・養育者で見ると、3点を超えており、高い満足度となっているが、全体と同様な満足度の低下傾向となっている。

年代別満足度(全体)



年代別満足度(養育者)



2 調査結果(満足度)

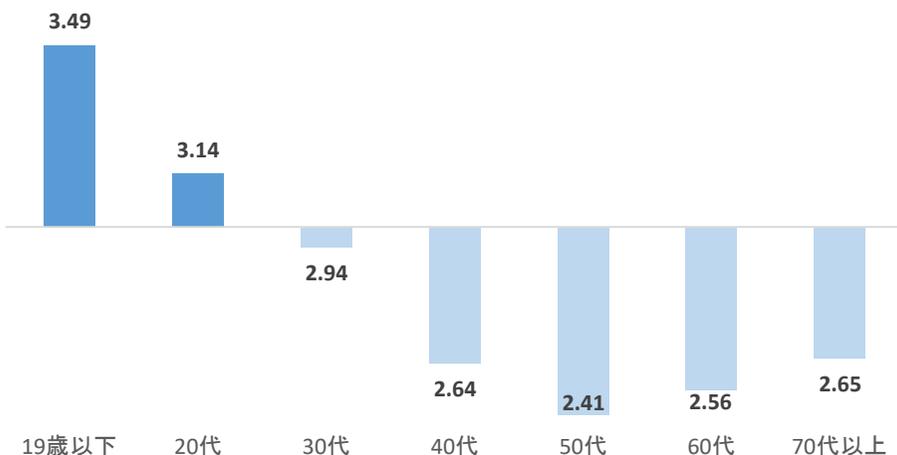
満足:5点 やや満足:4点 普通:3点
やや不満:2点 不満:1点 での平均

名寄市こどもの遊び場「にこにこらんど」の整備や歩道が整備されていない子育て施設へのアクセス道路整備後の市民満足度

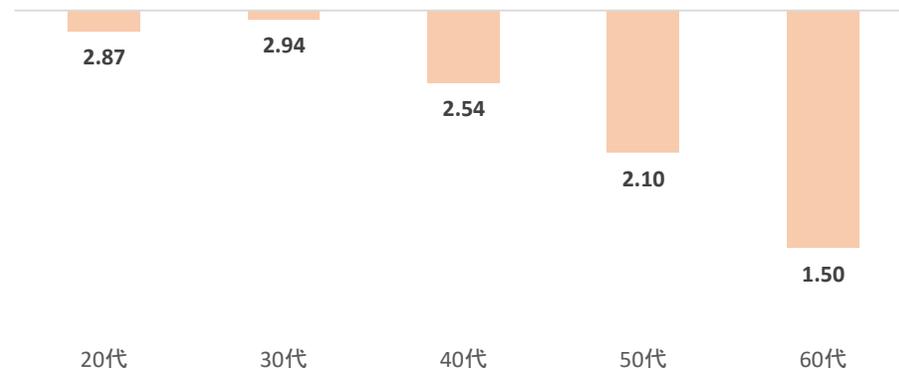
項目	満足度	うち養育者
中心市街地(名寄地区)の生活道路(市道)の安全性・快適性	<u>2.68点</u>	<u>2.69点</u>

- ・全体、養育者、双方で見ても満足度はほぼ同じ結果となっている。
- ・全体で見ると19歳以下と20代では高い満足度となっているものの、養育者ではどの年代も3点は超えておらず、低い満足度となっている。

年代別満足度(全体)



年代別満足度(養育者)



2 調査結果(不安解消)

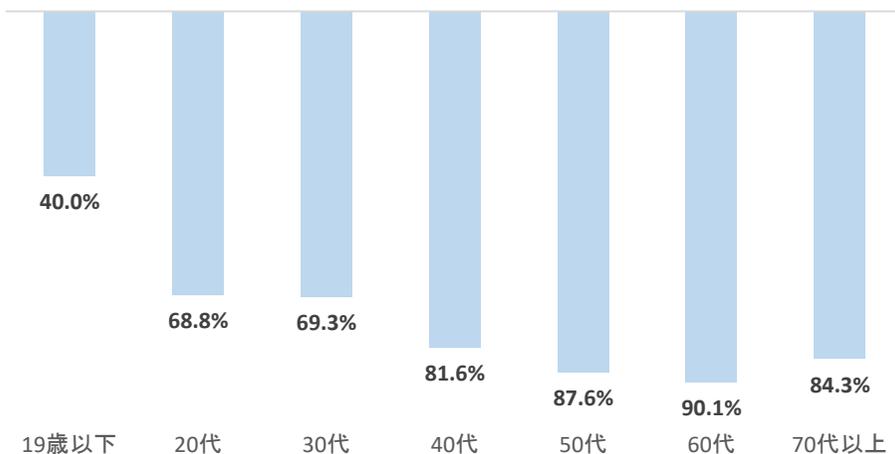
やや不安、不安と回答した割合

人口減少と少子高齢化の進行による今後への不安解消のため、認定こども園の整備等で子育て支援の都市機能強化を図った後の不安割合

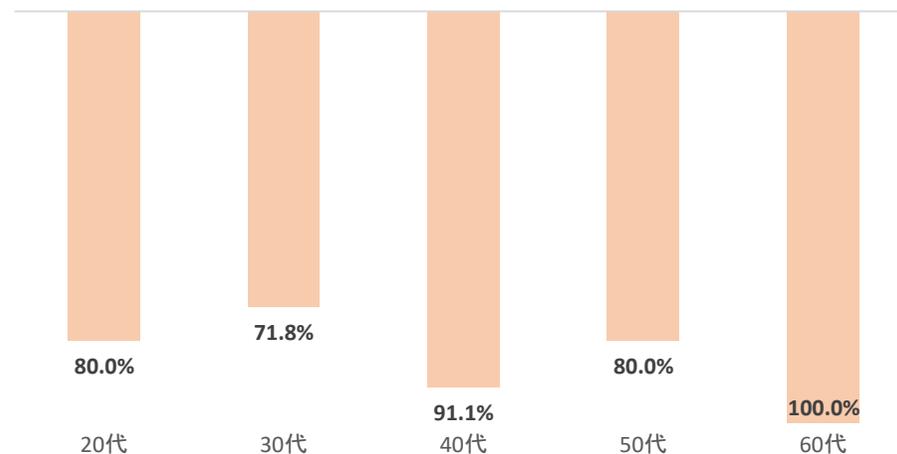
項目	不安割合	うち養育者
人口減少と少子高齢化による都市機能サービス(医療、福祉、商業など)の提供が難しくなることに対する不安	<u>81.1%</u>	<u>81.9%</u>

- ・全体、養育者、双方で見ても不安割合はほぼ同じ結果となっている。
- ・全体で見ると、19歳以下以外のどの年代においても不安割合が高く、40代以降は8割以上が不安と感じている。

年代別不安割合



年代別不安割合(養育者)



2 調査結果(大きな公園)

大きな公園の利用割合

市民の約半数は大きな公園を利用しており、それぞれの公園において約20%から約30%は養育者が利用しているが、養育者に限らず様々な世代が利用している。また、市民の約半数は利用していないが、養育者の約70%は大きな公園を利用していることとなる。

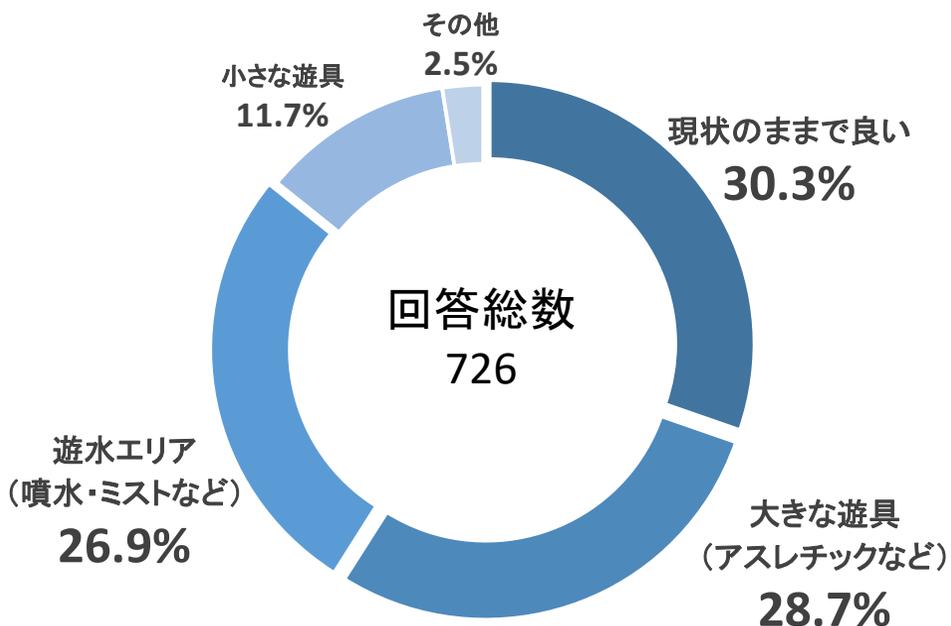
公園	回答数	選択率	うち養育者 回答数	うち養育者 選択率	全体回答数 からの割合
浅江島公園	291	28.0%	87	49.2%	29.9%
名寄公園	245	23.5%	67	37.9%	27.3%
大学公園	152	14.6%	31	17.5%	20.4%
風連町西町公園	38	3.7%	10	5.6%	26.3%
大きな公園は利用していない	530	50.9%	52	29.4%	9.8%
合計回答数	1,256	-	247	-	-
回答者数	1,041	-	177	-	-

注)複数回答のため、選択肢の割合の合計は100%となりません。

2 調査結果(大きな公園)

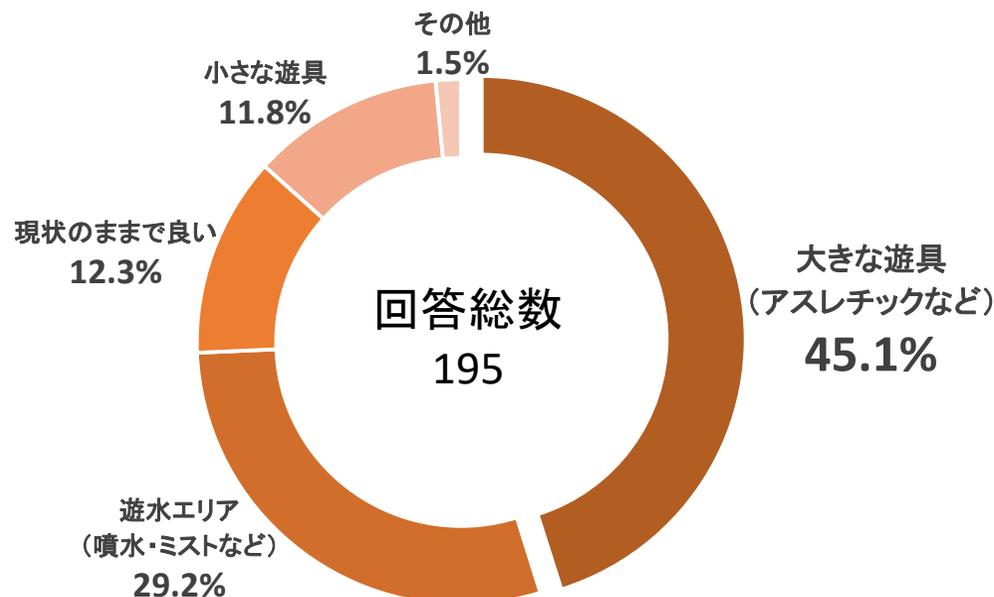
大きな公園に遊具増設をする場合、設置を希望する遊具

全体



項目	回答数
現状のままで良い	220
大きな遊具	208
遊水エリア	195
小さな遊具	85
その他	18

うち養育者

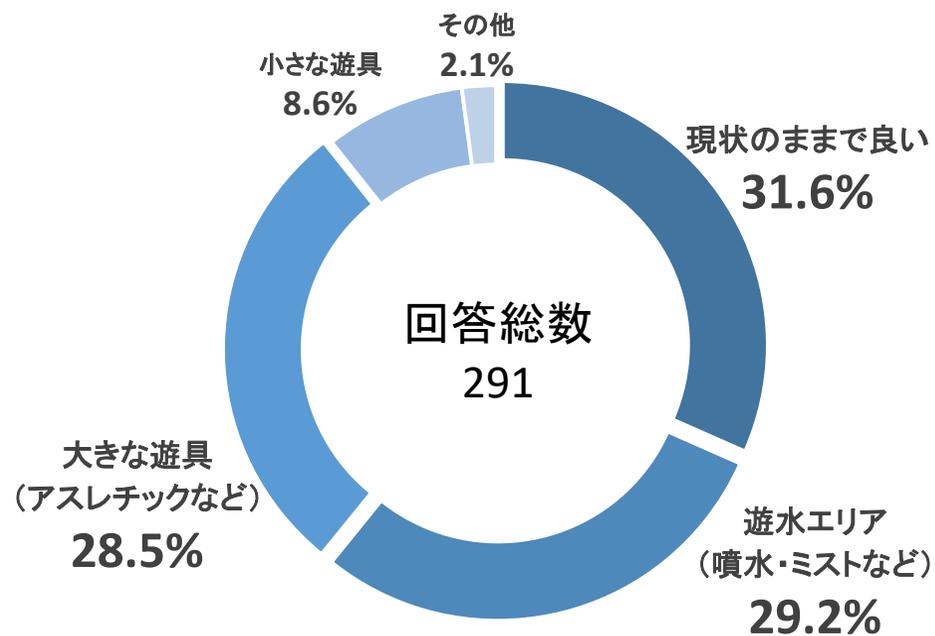


項目	回答数
大きな遊具	88
遊水エリア	57
現状のままで良い	24
小さな遊具	23
その他	3

2 調査結果(大きな公園)

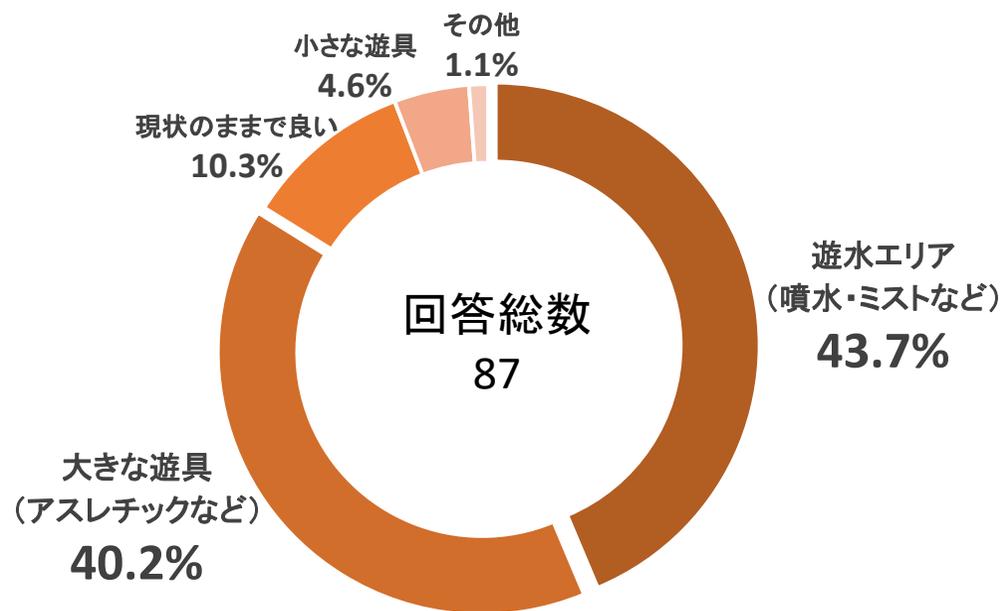
浅江島公園に遊具増設をする場合、設置を希望する遊具

全体



項目	回答数
現状のままで良い	92
遊水エリア	85
大きな遊具	83
小さな遊具	25
その他	6

うち養育者 (回答割合29.9%)



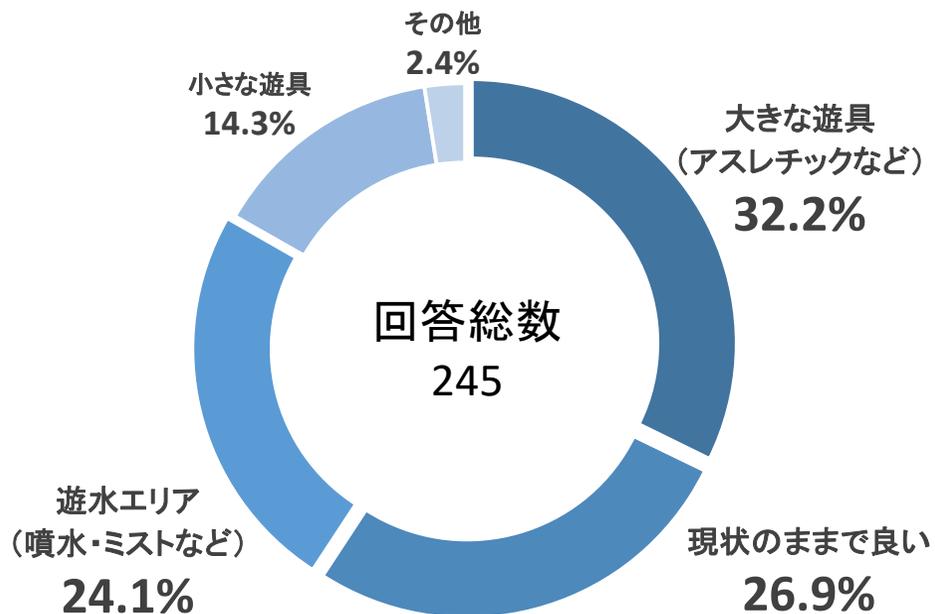
項目	回答数
遊水エリア	38
大きな遊具	35
現状のままで良い	9
小さな遊具	4
その他	1

2 調査結果(大きな公園)

名寄公園

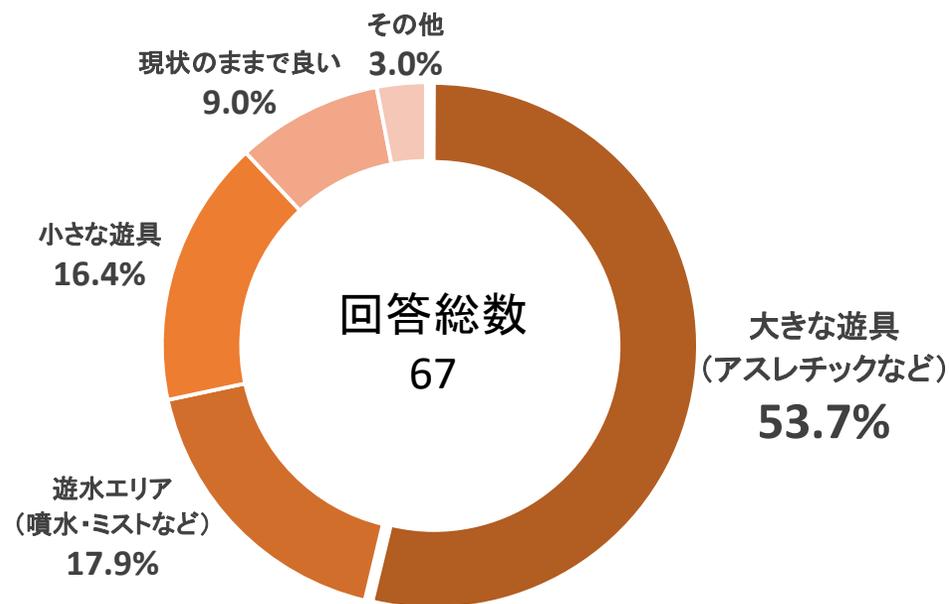
名寄公園に遊具増設をする場合、設置を希望する遊具

全体



項目	回答数
大きな遊具	79
現状のままで良い	66
遊水エリア	59
小さな遊具	35
その他	6

うち養育者 (回答割合27.3%)



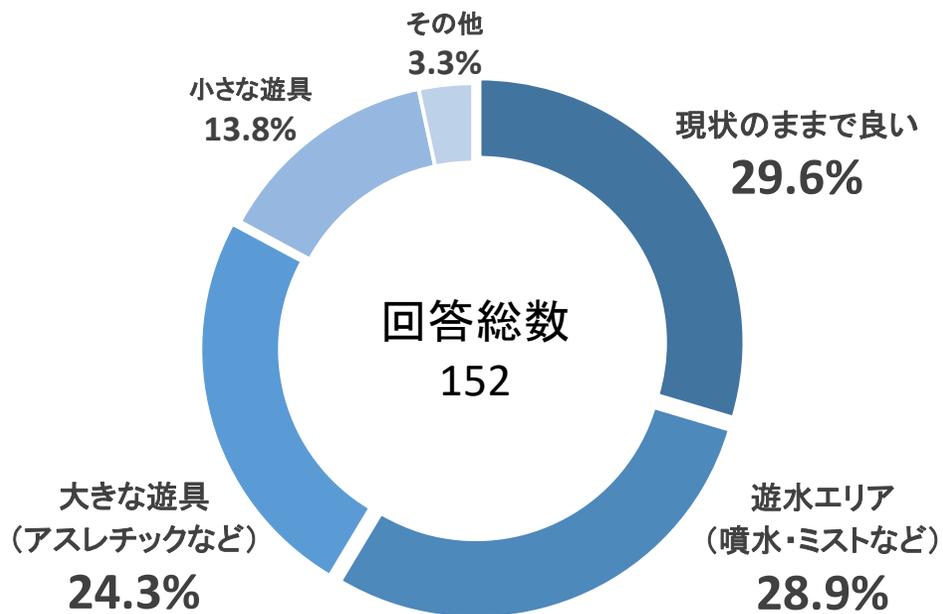
項目	回答数
大きな遊具	36
遊水エリア	12
小さな遊具	11
現状のままで良い	6
その他	2

2 調査結果(大きな公園)

大学公園

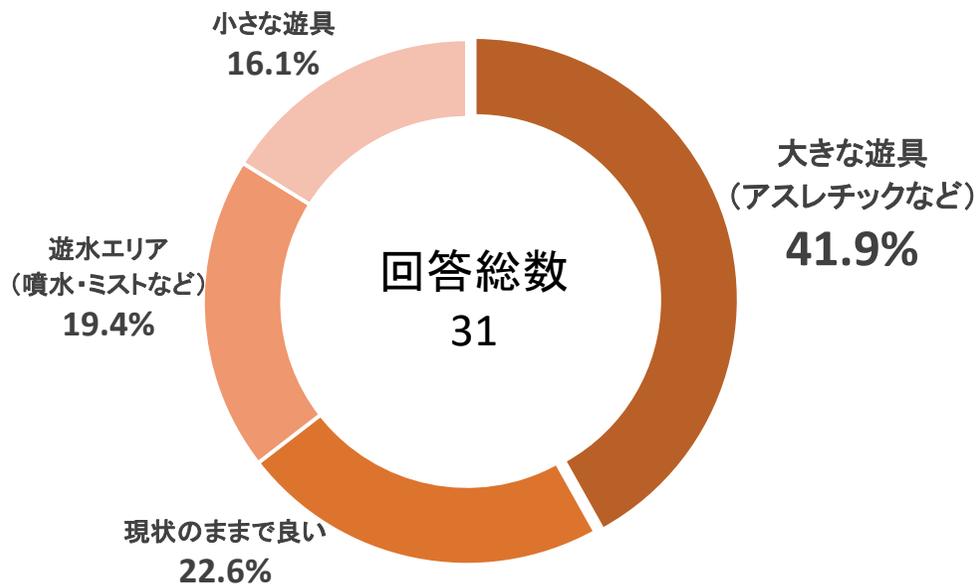
大学公園に遊具増設をする場合、設置を希望する遊具

全体



項目	回答数
現状のままで良い	45
遊水エリア	44
大きな遊具	37
小さな遊具	21
その他	5

うち養育者 (回答割合20.4%)



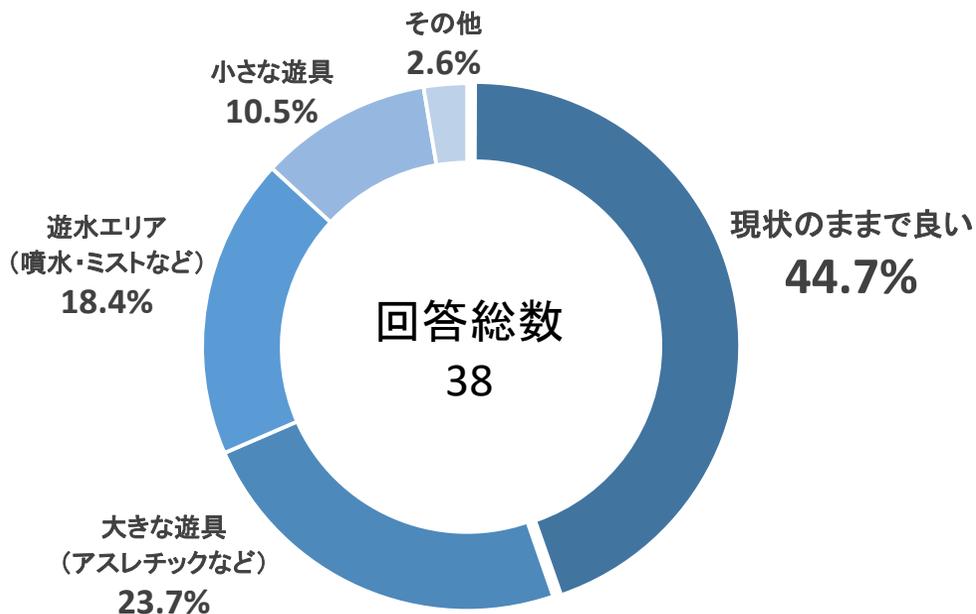
項目	回答数
大きな遊具	13
遊水エリア	6
小さな遊具	5
現状のままで良い	7

2 調査結果(大きな公園)

風連西町公園

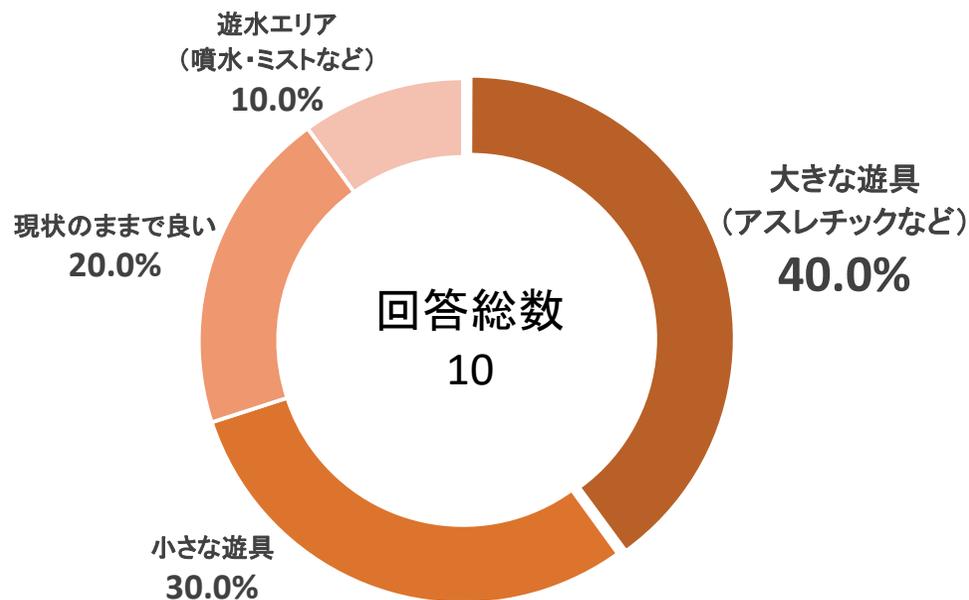
風連西町公園に遊具増設をする場合、設置を希望する遊具

全体



項目	回答数
現状のままで良い	17
大きな遊具	9
遊水エリア	7
小さな遊具	4
その他	1

うち養育者 (回答割合26.3%)



項目	回答数
大きな遊具	4
小さな遊具	3
現状のままで良い	2
遊水エリア	1

2 調査結果(大きな公園以外の公園)

大きな公園以外の公園の利用割合

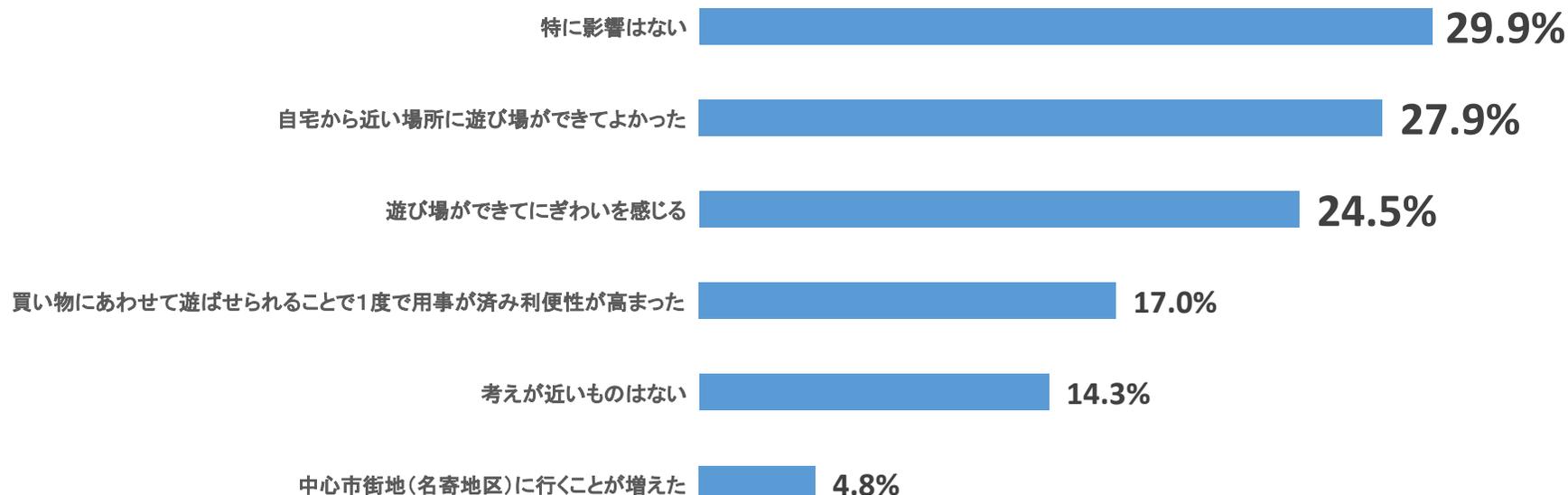
公園名	回答数	選択率	うち 養育者	うち 養育者 選択率
利用していない	675	64.8%	58	24.7%
白樺公園	44	4.2%	21	8.9%
アカシヤ公園	37	3.6%	9	3.8%
麻生公園	36	3.5%	16	6.8%
名寄南公園	36	3.5%	16	6.8%
ライラック公園	32	3.1%	17	7.2%
その他	32	3.1%	13	5.5%
花園公園	30	2.9%	12	5.1%
風連町中央公園	26	2.5%	3	1.3%
えんれい公園	25	2.4%	10	4.3%
ナナカマド公園	25	2.4%	5	2.1%
風連町緑町公園	21	2.0%	4	1.7%
コデマリ公園	18	1.7%	7	3.0%
ことぶき公園	18	1.7%	10	4.3%
栄町公園	16	1.5%	4	1.7%

公園名	回答数	選択率	うち 養育者	うち 養育者 選択率
錦町公園	15	1.4%	4	1.7%
カエデ公園	14	1.3%	4	1.7%
名寄児童公園	14	1.3%	3	1.3%
西町公園(名寄)	13	1.2%	3	1.3%
徳田ふれあい公園	10	1.0%	7	3.0%
仲よし公園	10	1.0%	4	1.7%
エルム公園	8	0.8%	1	0.4%
大橋公園	7	0.7%	1	0.4%
ハルニレ公園	6	0.6%	1	0.4%
南ヶ丘公園	6	0.6%	0	0.0%
福鶴公園	3	0.3%	1	0.4%
若草公園	3	0.3%	1	0.4%
カラマツ公園	2	0.2%	0	0.0%
北栄公園	0	0.0%	0	0.0%
合計回答数	1,182	-	235	-
回答者数	1,041	-	177	-

注)複数回答のため、選択肢の割合の合計は100%となりません。

2 調査結果(こどもの遊び場)

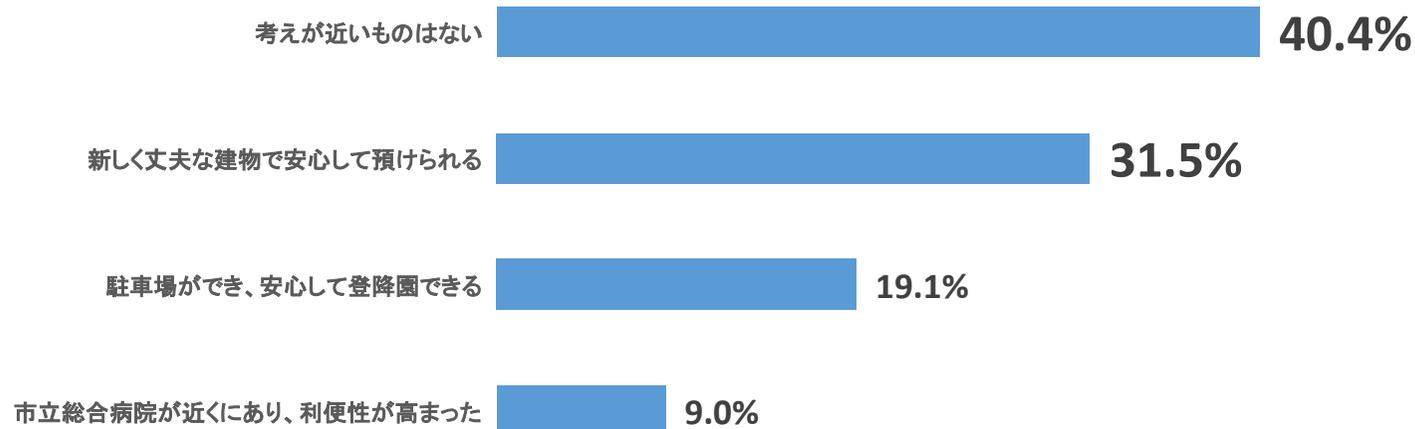
こどもの遊び場を整備したことによる、考えの近いもの



項目	回答数
特に影響はない	44
自宅から近い場所に遊び場ができてよかった	41
遊び場ができてにぎわいを感じる	36
買い物にあわせて遊ばせられることで1度で用事が済み利便性が高まった	25
考えが近いものはない	21
中心市街地(名寄地区)に行くことが増えた	7

2 調査結果（認定こども園あいあい）

認定こども園（あいあい）を整備したことによる、考えの近いもの



項目	回答数
考えが近いものはない	36
新しく丈夫な建物で安心して預けられる	28
駐車場ができ、安心して登降園できる	17
市立総合病院が近くにあり、利便性が高まった	8

3 調査結果分析

名寄市こどもの遊び場「にこにこらんど」の整備や歩道が整備されていない子育て施設へのアクセス道路整備後の市民満足度

中心市街地(名寄地区)の活性化とにぎわい

<p>未就学児の子どもが多いと思われる世代 (20代、30代)</p>	<p>こどもの遊び場の整備により、主な利用者であると思われるこの世代の満足度が高く、利用者のアンケート結果において、「遊び場ができてにぎわいを感じる」の回答割合も多い。</p>	<p>満足度が 高い傾向</p>
<p>上記以外の子どもが多いと思われる世代 (40代以上)</p>	<p>こどもの遊び場の利用が少ない、利用していないと思われる世代であり、利用が多い世代より満足度が低い傾向にある。 また、こどもの遊び場以外に中心市街地である駅前通りの活性化とにぎわいを求める声や空き店舗の対応を求める声が多い。</p>	<p>満足度が 低い傾向</p>

※)こどもの遊び場を利用している子どもの年齢割合は、6歳以下が約85%(令和6年度実績)

3 調査結果分析

名寄市こどもの遊び場「にこにこらんど」の整備や歩道が整備されていない子育て施設へのアクセス道路整備後の市民満足度

中心市街地(名寄地区)の生活道路(市道)の安全性・快適性

学生等車未所有者が多いと思われる世代
(19歳以下、20代)

学生等で車を所有していない方が多いと思われる世代であり、主な移動手段が徒歩や自転車の方の満足度が高い傾向だと推測でき、道路に対する声も少ない。

満足度が
高い傾向

上記以外の世代
(30代以上)

主な移動手段が車の世代であり、中心市街地ではない生活道路などに対しての声も多いため、中心市街地のみというより名寄市全体の道路整備状況や除排雪に対しての満足度が低い傾向と見れる。

満足度が
低い傾向

3 調査結果分析

人口減少と少子高齢化の進行による今後への不安解消のため、認定こども園の整備等
子育て支援の都市機能強化を図った後の不安割合

人口減少と少子高齢化による都市機能サービス(医療、福祉、商業など)の提供が難しくなることに対する不安

全ての世代

不安と感じている割合はどの世代でも高く、認定こども園の整備のみでは大きな不安解消まで
いならず、人口減少や少子高齢化が加速していることから市民の不安も増加しており、高齢化社会
施策、移住施策、雇用施策(企業誘致、産業創出)など様々な視点からの対策を求める声が多い。

不安割合が
高い